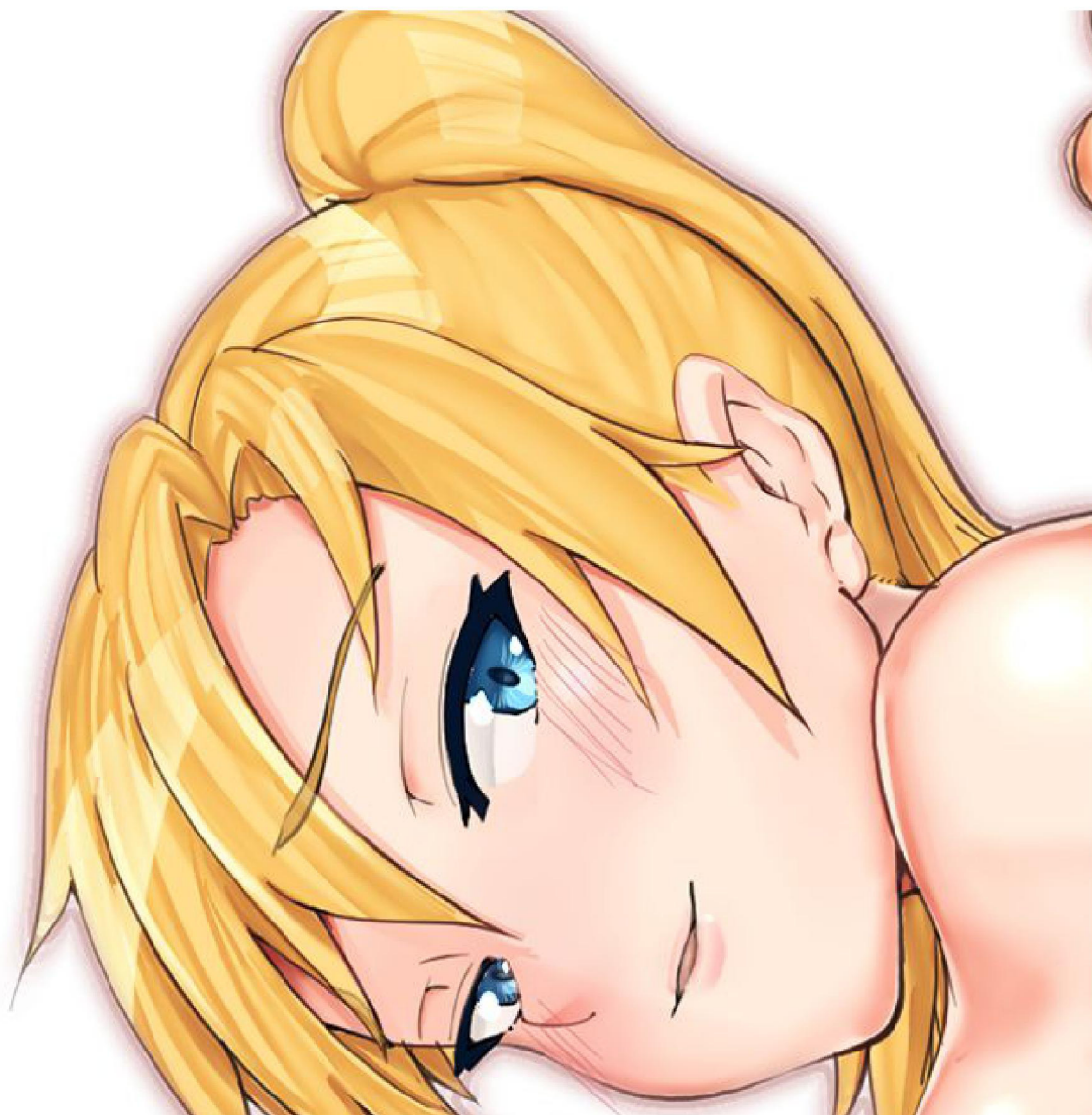


「レイラ」

ふたなりバトルの常連で勝率が高く、プライドが高い。
セレナとは今回で初対戦。
生意気な新星を肉奴隷にするべくリングに上がる。



『セレナ』

ふたなりバトルの気鋭新星。お嬢様らしい。
レイラ先輩を屈服させたい一心で、
相手を肉奴隷にする権利を賭けて闘うデスマッチに挑戦。



【試合スタートです～！皆さん今夜も始まりましたあ！私達ふたなり女子の秘密な夜遊び♡】

【それにしても最近またメンバー増えてない？ジムいっぱいの子の匂い...んふうんアタシもうダメかもお？！】

【とりあえず今対戦中のは大人気のレイラさんと、最近このジムに来たセレナちゃん！先日口喧嘩した二人がまさかの肉奴隷デスマッチです！】

【っていうかいつそんなルールでっちあげたあ？】

【たまにはいいじゃない？どちらも、相手が完全降伏するまでやめないと言ってます♡】

【ではみんなも好きに楽しんじゃいましょう～！】



「セレナ...っ、いい加減にし...ッ、ああッ！そこコスコスしちゃだめえ...
ッ、んあッ！」
『ふんっ、そんなもの？あの偉そうに威張ってばかりのレイラ様がこおん

なにすぐにギブアップしちゃうなんて...っ！くすっ、大したことないわねえ』

「は、はあ？ギブアップなんてそ、そんなわけないでしょ...っ！あつ、んはああッ！あんたなんかに屈服するなんて...っ、私がそんな...ッ、あああッ！はあんッ！」



『ほらほらあ！もうこんなにヌルヌルにしちゃってえ...！見てみなさいよ、先っぽから溢れてるこのねばねばのお汁はなあに？』
「んああッ！先っぽ乱暴にしちゃ...ッ！あひっ、らめえッ！あっ、あ

あッ！ツンツンだめ...ッ！やめ...ッ、やめなさいいッ！」

『ん～？こうやって本気汁で先っぽちゅこちゅこされるの好きでしょ～？ほらほら、ちゅこっ、シコシコシコお～！んふっ、悔しかったらやり返してみなさいよお』

「あああッ！見てなさい、セレナあッ！あああッ、んっ、あんたも先っぽ弱い知ってるんだから...ッ！くっ、あんたが私に屈服するのよ...ッ！」



『んああッ！さっきまでヒンヒン鳴いてたっていうのに生意気ね...っ、はあっ、あひっ、そんなに動かしちゃ...っ、んひいいッ！』

「ふふ、無様ね...。この戦いはもらったわ。勝って不躰なあんたを肉奴隷にしてやるんだからっ！ほら、気持ちいいんでしょ？認めなさいよ」

『くう～っ、気持ちよくなんかっ、んああッ！ひいんッ！私があんたを肉奴隷にするんだから...っ、あんたなんかにイ、負けないんだからあッ！』

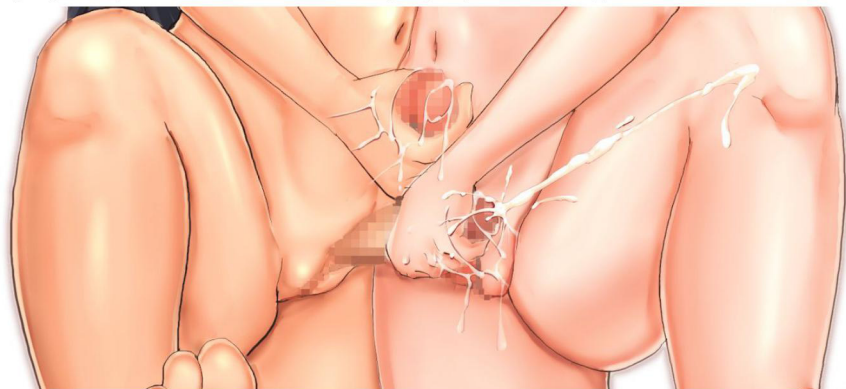
「んあああッ！！？ちょ、いきなりそんな...っ、だめ...ッ、あああッ！んああ、あひっ、やめなさい...っ、ううッ！」

『おっぱいコスリつけられるの、気持ちいいでしょう？むにむにい、ふわふわあ、って私の巨乳に可愛いピンクの乳首が埋もれてるわよお？』

「ああ...ッ、ん...っ、あああ...ッ！そっちこそ...、私の乳首と乳首がコスられて...っ、気持ちいいんじゃないのお？んああッ」

『んひッ!? ずるいわよ...ッ、ああんっ、乳首コリコリしちやだめえ...
ッ! ああ...っ、あんたが乳首ビンビンに勃起させてるせいでえっ、刺激
があッ!』

「は、はあ?! そんなことないわよっ! あんたの方がビンッビンじゃない
のっ! ああッ、んひいっ! んあああっ?!」



「ッそんなっ?! んふッ」

『隙ありいッ!』

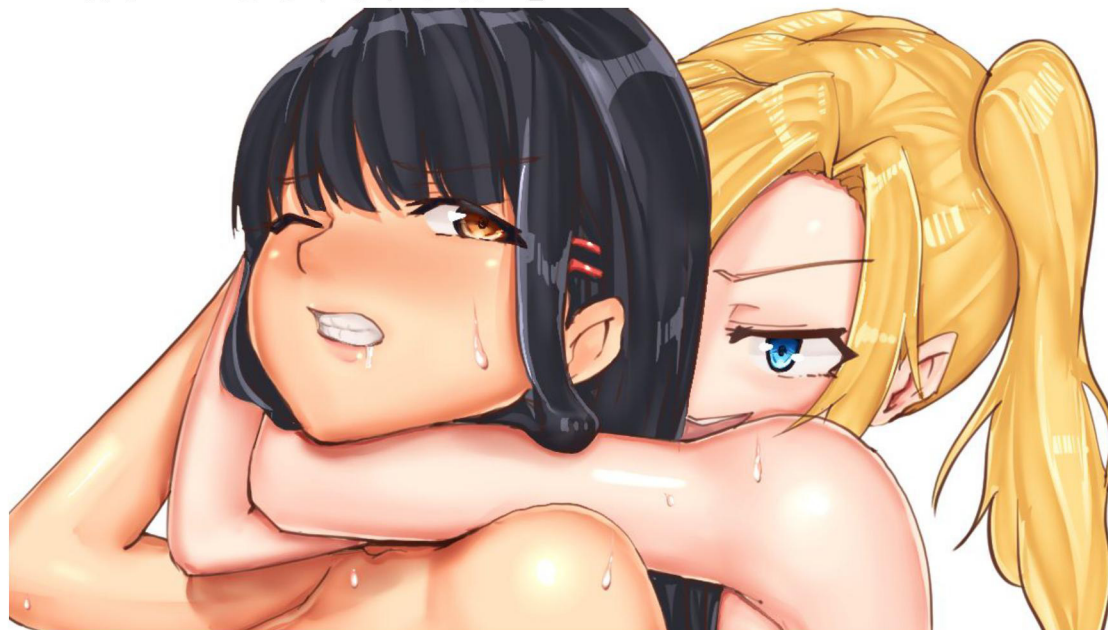
「きゃあああっ?!」



『ふふ、あのレイラ様が背中をいとも簡単にとられるなあって、気持ちよすぎて油断しちゃったんじゃないかしら？』

「ふうう...っ！あひっ、そ、そんなわけ...っ！あ、あんたがあまりにも張り合いがないからチャンスを与えてあげてるだけよ...っ！あッ、やめ...ッ！」

『余裕こいてられるのも今のうちよお？ほらほらあ、よそ見してるとどんどん締まってきちゃうわよお？』



「ぐうっ、いぎい...ッ！いい加減に...ッ、くうんッ！セレナあ...ッ！ぐうッ、放せ...ッ！」

『足バタつかせて“放せー”だなんて、可愛いわねえ？ふふっ、離してなんかやらないけどねっ！はははッ！』

「んぐぐッ！ああ“ッ！調子に乗りやがってえ...ッ！ああ”ッ！」

『必死になっちゃってえ...。ふふっ、首だけじゃ足りないでしょ？だからあ、もおっと痛めつけてあ・げ・る♡くすっ、踵がお腹に食い込んで苦しいでしょ？』



「いぎぎぎッ！ ああ...ッ！ うううッ！ 放...ッせええ...ッッ！！」
『あらあらあ、威勢だけはよろしくて？ ふふ、でもお、こんなにきつうく
締められちゃったらあ、動けないでしょ？ ほらほら早く降参して私の肉奴
隷になりなさい』
「うぐぐッ！ あんたの肉奴隷になるのだけは絶対にごめんだ...ッ！ んぐ
ぐッ」



『ん～、なかなかしぶといわねえ。じゃあ、これならどうかしらあ？ふふっ、レイラ様の淫乱おちんぽ、シコシコお、シコシコお♡』

「んあああッ？！...ツんひゃっ！や、やめろッ！あああッ！セレナあ...ツ、ああッ！」

『あらあ？今度は甘ったるい声になっちゃってるわよ？普段は威勢よく吠えてるはずのレイラ様がどこに行っちゃったのかしらあ？ふふっ』

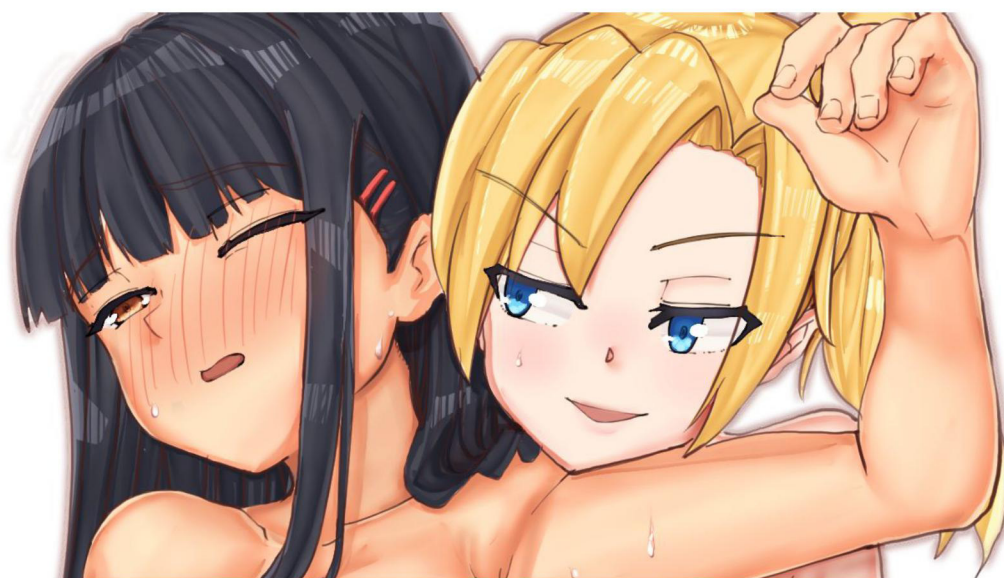
「やあんッ！ああ...ツ、うるさいッ！んぐっ、ちょっ、胸、触るなあッ！あああッ！やああッ！そこは...ツ、あああッ！」



『んふ、シコシコされながらおっぱい揉まれるの、好きなのお？馬鹿にした女に足でシコシコされてるのに感じちゃってるレイラちゃん可愛い～』

「可愛いとか...、言うなあ！私は...、負け知らずと名高きレイラ様だぞ...ッ！くうんッ！あああ“ッ！”

『んふふ～、こんなにおちんちんおっ勃ててるのにまだそんなこと言えるのねえ。まあ、私の相手をするならこれくらいじゃないとね、ふふっ』



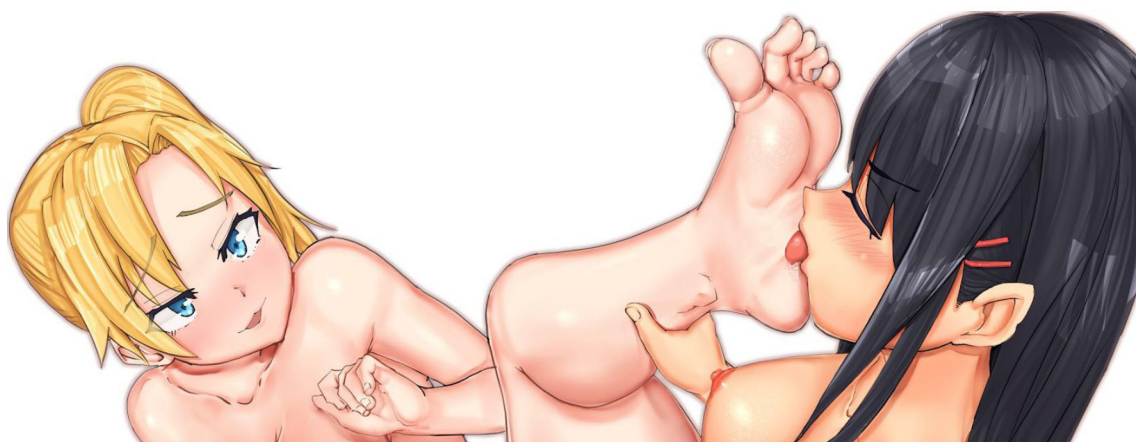
「くっそおお〜ッ！んあああッ、こんな女に...っ、負けない...ッ！
あああッ！ひゃああッ！」
『ふふっ、さっきまでしょんぼりしてた乳首もお、んふ、ぷっくり腫れて
きちゃってるわねえ。つんつんしたらだめになっちゃうかなあ？』
「んああああッ！らめええッ！で、出るうううんぐッ！」



「はあはあ...ッ、んふあ...」
『あははッ！凄い噴水～！レイラちゃんのおちんちんはもうセレナ様の足の匂いマーキングで奴隷宣言しちゃったかなあ～？』
「...ッ、くうう～ッ！こうなったらああッ！」
『んぐアあ?!』



『ちょっ！んぐうッ！レイラッ?!...、やめ...ッ、く、くすぐるのはナシでしょ...ッッ！ひやははははッ』
「ほらほらあッ！もっと喚きなさいっ！ふふッ！食らえ！」
『い...、いひひひッ！あひやひやひや～ッ！ちょ、んあああ～ッ！』
「ギブアップ？」
『あひやッ！バ、バッカじゃないのお?!あんたルール解って...、ひやはははッ』
「まあ、そうよねえ～」
『はあっ、はあっ、はあっ。笑い死ぬかと思ったわ...』
「あらあ、こんなに無防備に足を差し出しちゃっていいのかなあ？ん、れろおっ」



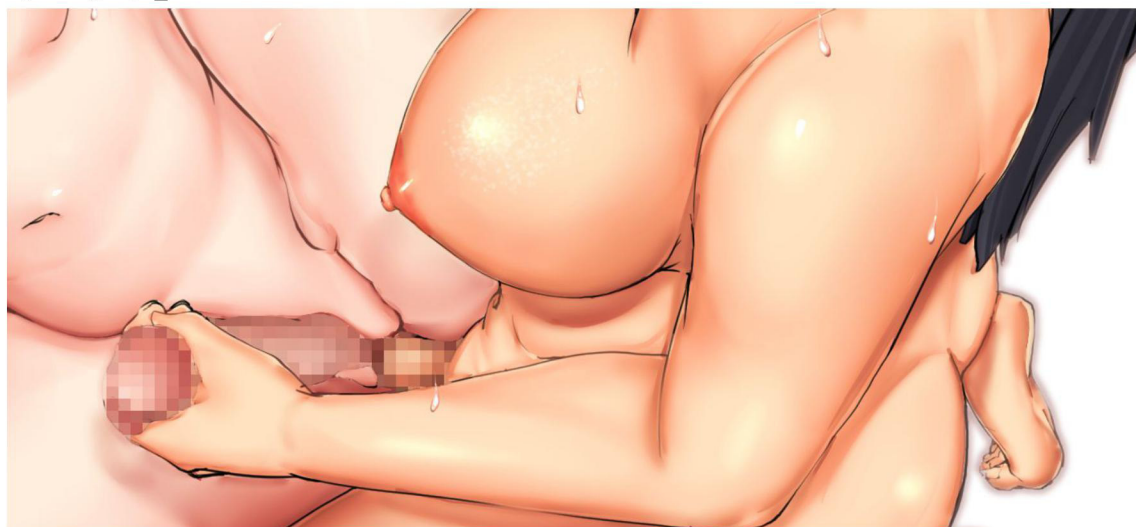
『ひゃッ、あひッ?! ちょっと、足の裏は...ッ! き、汚いからああッ! あひゃひゃひゃッ!』

「私が綺麗にしてあげる。あんたのきったない足、隅から隅までぜえんぶぺろぺろしてやるからね、あははっ」

『んひひッ! 指の間はらめ...ッあひゃひゃひゃッ! んひひひッ! レイラあ...ッ! んひゃははははッ!』

「あんたがこんなにくすぐりに弱いなんて知らなかったよ。ん、れろおっ、んちゅう、ちゆるるるッ! どこが一番弱いのかなあ? んちゅう〜」

『ひゃひいいッ! くひひひひひッ! んああ...ッ、も、もうやめ...ッ! んぐぐ〜ッ!』



「あはは! 下のお口でよく味わいなさいっ! ご主人様のソーセージだわ〜♡」

『くッ! 誰があ...ッ、んああッ?!』

「ふふっ、おちんちんもシコシコしてあげまちょうねえ? ん、れ

ろおおッ！んっ、ほおらチコチコおチコチコお。あははッ、ビクビクして
まちゆよお？」



『ひゃああんッ！んああ...、あうううッ！ば、馬鹿にしないで...ッ！ん
やああッ、くひいいッ！』

「あれえ？もしかしておちんちん扱かれたら、足ぺろぺろも気持ちよくな
なっちゃった？下のお口がヨダレ垂らしてソーセージ舐めまわしてる
よお？んふふ」

『んひゃああッ！負けない...ッ、私は負けないんだからあああんッ！』
「ふふ、そんなに暴れてもムダムダあ♡逃がしてなんかあげないんだか
ら。んふうー、んふうー、全くクサイ足ね、さっき匂いマーキングされた
ご主人ちんぽでえ、この雌犬まんこにお返しザーメンマーキングしてあげ
る～、んちゆう」

『ちょっ...ッ、やめッ、うああッ？！』
「出すわよ？あんたも射精しなさい。あむ...この足裏最高お～、ぢゆるる
るッ！」

『んがああッ！イクッ！イクううう？！やああああッ～！』



「ふー...」
『んは...はああ...はああ...』
「あんたもなかなか良い筋だけど、これで——」

本編に続く♡

* 製品版では本編57ページに文字無しHD原画集全93枚を同梱!!